

フィデアホールディングス株式会社
取締役 代表執行役社長 里村正治

1. コンプライアンスとは？

(1) 仙台市コンプライアンス行動規範集に記載された定義

法令や社会のルールを守っていくことのみならず、市民のニーズや社会の要請に応えていくこと

(2) 定義の特徴と行動規範集の根本思想

- 狭義ではなく「広義のコンプライアンス」、受動的ではなく「能動的コンプライアンス」
- 市民の視点を重視
- 「倫理観」に基づき、更に「社会的要請に応えていく」強い姿勢を打ち出している
- 組織風土改革（風通しの良い職場・協力し合う職場）につなげていく強い意思

(3) コンプライアンスの底流にある一般的な考え方

- 李下に冠を正さず
- 恥じることはしない
- お天道さまが見ている

(4) 組織運営上の根本たるコンプライアンス

- 米国での「バナナの皮」事件（実例）
- 職員一人ひとりが「説明責任」を負うという考え方
- 「その判断が最善であると市民に説明できますか」（仙台市コンプライアンス行動規範集より）

2. あくまで出発点としての行動規範集の制定

(1) コンプライアンス推進理念

私たち仙台市職員は、コンプライアンスの推進を図ることで、市民との強固な信頼関係を構築し、職員一丸となって、全力で仕事に取り組みます

(2) 推進の目的

- 市民との強固な信頼関係を構築する
- 職員を管理する者として風通しのよい職場を率先して作っていく
- 「私はチーム力を高め、よりよい仕事をします」

3. コンプライアンス意識を浸透させるための心構え

(1) 意識を浸透させる責任者は誰？

- 部下を持つ職員、職員を管理する者の職務上の責任
 - 感度良く組織全体を見渡そう！
 - 日頃のコミュニケーションを図ることを心掛けよう！
 - 相談してもらえる人になろう！
 - 小さな問題でも見逃さずに！
 - 問題の解決に心を配ろう！
- 一人ひとりが「今までとは異なるフレッシュな規律を導入する」担い手になろう

(2) コンプライアンス態勢の充実に向けて

- 風化させずに、常に新鮮さが保たれる組織運営が肝心
- 「コンプライアンスの目的に合致している組織運営になっているか？」の点検を常に怠らないこと
- 職場規律の醸成につながるようにコンプライアンス行動規範集を活用する
- 放っておくと、濁ってくるのが組織の常
- ポジティブな運営に心掛ける→(例)部下の努力や挑戦を褒める
- 風通しのよい職場作りに心を配る→(例)ミスなどの悪い報告をきちんとさせる

(3) 「コンプライアンス行動規範集」の活用

- 朝礼、研修等での読み合わせなど日頃からの活用が大切
- 公務外での行動規範でもある

【参考】動き出した民間企業に対する「コーポレートガバナンス・コード」の適用

第1章 株主の権利・平等性の確保

第2章 株主以外のステークホルダーとの適切な協働

原則 2-5 内部通報

第3章 適切な情報開示と透明性の確保

第4章 取締役会等の責務

第5章 株主との対話

- コンプライアンス態勢の整備が前提
- 内部通報制度・公益通報制度の周知を通じて、隠ぺい体質の改善、風通しのよい風土醸成といった効果が期待できる

以 上